

第二講

〈助動詞のポイント〉

(1) 「活用」する

(2) 「意味」がある

(3) 「 」（その助動詞の直前が何形か）が決まっている

★助動詞「き」

(1) 活用

き	
	未然形
	連用形
	終止形
	連体形
	已然形
	命令形

(2) 意味：

「 」（直接経験）

(3) 接続：

「 」形

★助動詞「けり」

(1) 活用

けり	
けら	未然形
○	連用形
けり	終止形
ける	連体形
けれ	已然形
○	命令形

(2) 意味：①「 」（間接経験）

②「 」【訳】

※「 」中の「けり」は②の意味になる

例）逢ひ見てののちの心にくらぶれば昔はものを思はざりけり

(3) 接続：「 」形

例題 次の傍線部のうち一つだけ文法的用法の異なるものがある。それを選べ。

- (1) 貧しければするわざもなかりけり。
(2) 財宝はなけれどもさすがに空倉はあまたありけり。
(3) この児、あはれ食はばや食はばやと思ひけるに、
(4) 思はむ子を法師になしたらむこそ心ぐるしけれ。
(5) ふるさととなりにし平城ならの都にも色はかはらず花は咲きけり